

「Co-Design Challenge」プログラム

＜大阪・関西万博 開幕まであと1ヶ月！＞

【万博会場にも実装！】 サステナブルを実現する
**「軽量・高強度で多彩なデザイン設計が可能な
 古紙から生まれる『展示台』」完成！**

~~~~~ (プロダクトの特徴) ~~~~~  
 デザイン×ものづくりで日本の新しい価値を世界に広げる



提供：2025年日本国際博覧会協会

代表団体（一社）サスティナブルジェネレーション  
 協力企業（株）アクラム（株）高木包装（株）パックインタカギ  
 は、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）を契機に、  
 「これからの日本の暮らし」を改めて考え、多彩なプレイヤー  
 との共創により新たなモノを万博で実現します。  
 「Co-Design Challenge」プログラム（以下、「CDC」）に  
 採択され、軽量・高強度多彩なデザイン設計が可能な段ボール製  
 展示台を開発。プロダクトは2025年4月13日（日）に開幕を迎  
 える大阪・関西万博の会場に設置します。



CDC特設サイト



事業者ページ

「軽量・高強度で多彩なデザイン設計が可能な古紙から生まれる『展示台』」は、奈良の歴史を地域創生につなげようと若手経営者らでつくる「一般社団法人サスティナブルジェネレーション」がCDCへの参加をめざし、奈良県葛城市の「高木包装」が中心となり開発した仕器の概念を打ち破る段ボール製です。「段ボールの可能性を知ってもらうチャンス。リサイクル率100%に近い、環境にやさしい素材を使って未来をデザインしたい」。そこから迷わず「国内外からの多くの人に見てもらえる展示台」という想いのもと開発しました。丸形のテーブルを半円のタワーが包み込み「囲まれた空間」を演出し、段ボール100個のパーツで組み上げられた、2mに近い高さの展示台ができました。段ボールの存在感を示すようにあえてむき出しになった断面は、波打つような文様を描き躍動感を感じさせます。「段ボールの新たな創造」が、未来へとつながるかたちとなりました。

提供する14台の展示台は会場の西側「フューチャーライフゾーン」内の「フューチャーライフヴィレッジ」に置かれ、ここでは、中小企業や教育機関など多様な主体が未来の暮らしへの提案を持ち寄って発表を行い、その際に使われるのがこの展示台です。デザインとものづくりに秘められた無限の可能性に心躍らせ、これからの日本の暮らしをつくる、新たな挑戦にぜひご注目ください。

■□ 本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先 □■

株式会社高木包装 総務部

担当：関川 千加美 メール：c-sekikawa@takagi-hoso.co.jp

電話番号：0745-65-1133 FAX：0745-63-1111

## 軽量・高強度で多彩なデザイン設計が可能な古紙から生まれる「展示台」

代表団体：（一社）サスティナブルジェネレーション

協力企業：（株）アクラム（株）高木包装（株）パックインタカギ

【大阪・関西万博会場設置予定場所】フューチャーライフヴィレッジ

斬新なデザインを生かしながら、総重量が25kgにもなる展示台の強度や耐久性を担保するために、綿密な設計と様々な工夫をしました。重さ9kg、32インチのモニターの設置は難題でしたが、展示台中央に収めることで安定したバランスを生むことができました。素材も木材のような堅さを持つ強化段ボール（1層5mm）を2層に重ねて使い、特に物が置かれる丸形テーブルの天板部分は3層にすることで80kgまでの荷重に耐えられます。またプラスチックや金属を一切使わない組み立て型でリサイクルも可能な展示台です。

紹介動画：<https://www.youtube.com/watch?v=rdiDrRnjVuU>

軽く、強く、環境配慮もデザインも。段ボールの新たな価値と可能性を追求する。

Vol.1 [https://www.expo2025.or.jp/cdc-report/report-20241122-03\\_\\_trashed/](https://www.expo2025.or.jp/cdc-report/report-20241122-03__trashed/)

Vol.2 <https://www.expo2025.or.jp/cdc-report/report-20241122-04/>

Vol.3 <https://www.expo2025.or.jp/cdc-report/cdc-20250213-03/>



Vo 1~Vo3



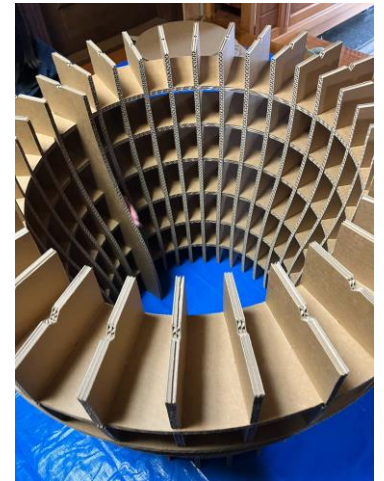
YouTube



写真下：3層の強化ダンボールで組まれた展示台の丸型テーブル部分



提供：2025年日本国際博覧会協会



上：組み上げ中の丸型テーブル部分

## オープンファクトリー概要

名称：株式会社高木包装オープンファクトリー

開催日時：大阪関西万博開催中 詳細未定（決定次第高木包装ホームページにて発表）

開催時間：詳細未定

開催場所：株式会社高木包装 本社 奈良県葛城市はじかみ74-2

内容：さまざまなサイズの段ボール製のケースが1分間に300枚のスピードで、印刷・カット、糊付け、貼り合わせ、結束して製造される様子など工場見学と、段ボール製の特大相撲ゲーム（段DAN相撲）、共創チャレンジでも登録しているサスティナブルトイ（SDKids）で制作体験など。



高木包装HP



上：段ボールケース製造見学の様子



段DAN相撲の様子



制作体験の様子



## “Co-Design Challenge” Product MAP

### フューチャーライフヴィレッジ Future Life Village

- 古着や古布から作ったベンチ  
Bench Made of used clothing and old cloth
- ごみから作るサステナブルなヘルメット  
Sustainable Helmets
- 宇宙ロケット廃材でつくるベンチ  
Bench made of space rocket scrap
- 災害廃材を利用したサインスタンド  
Sign stands made by utilizing disaster waste
- 未利用木竹材を活用したごみ箱  
Trash cans by utilizing wood and bamboo
- 古紙から生まれる展示台  
Exhibition stands made from recycled paper
- 北海道産木材の椅子  
Chairs Made of Hokkaido Wood

- 廃棄貝殻から生まれたベンチ  
Sustainable Bench
- 陶製テーブルスツール  
Ceramic table stools
- 思い出が持続するスツール  
Stools filled with memories
- 歩留まり99%の椅子  
Chairs made from a single board
- 端材と廃材を活用したスツールとテーブル  
Stools and tables made from scraps
- 額縁のように美しいものになじむスツール  
Stools in harmony with scenery



JP



EN

提供：2025年日本国際博覧会協会

## 「Co-Design Challenge」プログラムとは

Co-Design Challengeプログラムは、大阪・関西万博を契機に、様々な「これからの日本の暮らし（まち）」を改めて考え、多彩なプレイヤーとの共創により新たなモノを万博で実現するプロジェクトです。

万博という機会を活用いただき、物品やサービスを新たに開発することを通じて、現在の社会課題の解決や万博が目指す未来社会の実現を進めます。

Co-Design Challengeプログラムは、当協会が設置したデザイン視点から大阪・関西万博で実装すべき未来社会の姿を検討する委員会「Expo Outcome Design Committee」監修のもと生まれたプログラムです。

本プログラムは、これまで2回、募集を行いました。第1弾募集（Co-Design Challenge 2023）はモノの開発、第2弾募集（Co-Design Challenge 2024）は、モノの開発に加え、新たに「地域誘客」の観点でそれらのモノが作られた「日本全国それぞれの土地」の生産現場や工房を公開し、来訪者にもものづくりを体感してもらう取組（オープンファクトリー）を募集。

これらの取組を通じて、万博が目指す未来社会の実現を進めます。

※Co-Design Challenge 2024での体験企画については、今後「観光ポータルサイト」へと順次掲載されます。

観光ポータルサイト：<https://www.expo2025travel.jp/>

## 2025年大阪・関西万博

2025年4月13日から10月13日にかけて開催される2025年大阪・関西万博のテーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン（Designing Future Society for Our Lives）」です。「いのちを救う（Saving Lives）」「いのちに力を与える（Empowering Lives）」「いのちをつなぐ（Connecting Lives）」という3つのサブテーマが掲げられています。

2025年大阪・関西万博は、人工知能、エネルギー、交通、都市開発などの分野における最新の進歩とテクノロジーに焦点を置き、すべての個人のための持続可能な社会を構築する、というコンセプトを中心に据えています。また、万博はすべての人にとってよりよい未来を創造するための文化的理解と多様性の重要性を強調しています。

■ □ 本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先 □ ■

株式会社高木包装 総務部

担当：関川 千加美 メール：c-sekikawa@takagi-hoso.co.jp

電話番号：0745-65-1133 FAX：0745-63-1111